

# ハンディジオスライサー

ハンディジオスライサーは、特許技術“地層抜き取り調査法”を応用し、個人調査において地層断面資料の採取を可能にした資料採取ツールです。

ハンディジオスライサーを用いることで、未固結の軟弱な地層や土壌を定方位で面的に採取することができ、地層境界や微細な構造を露頭さながらに観察することができます。

● **用途** ハンディジオスライサーは、以下のような調査・目的に利用すると効果的です。

- ・ 崩れやすい砂もしくはシルトのサンプリング  
(定方位で堆積構造を乱さないブロックサンプル採取)
- ・ 表層土壌や未固結の表層地質調査
- ・ 干潟などの軟弱な表層堆積物および環境調査
- ・ 海浜堆積物など堆積相解析のための試料収集
- ・ 遺跡調査における土層確認のための試掘



● **ハンディジオスライサーの利点**

- ・ 幅約6~12cm、長さ最大で3m、厚さ約2cmのブロックサンプルを定方位で採取できる。
- ・ 採取したその場でサンプルを地層断面として観察できる。  
(従来のコアのように半割にする作業がいりません)
- ・ 試料は地層の垂直断面として観察できるため地層境界などの情報を直接得ることができる。
- ・ 無水で連続的に試料を採取するため、スライム等の混入による試料の乱れ、コンタミネーションが少ない。(各種分析の為の良好な試料を採取できます)
- ・ 従来の調査機材と比べて少人数で簡便に、良好な地層試料を採取できます。



\* ハンディジオスライサーは研究機関・教育機関等の非営利目的の利用者を対象として販売配布しております。

\* ハンディジオスライサーは地層抜き取り調査法(特許:JP 2934641, JP2981542, US 6009958)を応用したものです。

\* ジオスライサー(Geoslicer)は広島大学の登録商標です。

\* ジオスライサーは国土交通省技術情報提供システム(NETIS)に登録されています。

## ● 標準セット構成

ハンディジオスライサーは利用目的に応じてサンプラーを使い分けることにより、50cm程度のごく浅層から最大約3mまでの試料採取が可能です。標準的なセット構成は以下の3タイプを用意しています。

### バイブレータタイプ

1m～3mの試料採取を目的とし、専用設計のバイブレータを使用します。

ハンディジオスライサー本体	
・ハンディジオスライサー(1m) ▪	2台
・ハンディジオスライサー(1.5m) ▪	1台
・ハンディジオスライサー(2m) ▪	2台
・ハンディジオスライサー(3m) ▪	1台
・ハンディジオスライサー(3m narrow) ▪	1台
バイブレータ	
・バイブレータ(打ち込み装置) ▪	1台
引き抜き機	
・ジャッキ式引き抜き機 ▪	1台
・引抜き具 ▪	1個
・引抜きフック ▪	5個
打ち込み引き抜き用備品	
・打ち込みアダプタ ▪	1個
・ショックレスハンマ、ウレタンカケヤ ▪	各1本



### 1m 打ち込みタイプ

ハンマー打撃により、1mの試料採取を簡便に行うことができます。

ハンディジオスライサー本体	
・ハンディジオスライサー(1m) ▪	2台
引き抜き機	
・ジャッキ式引き抜き機 ▪	1台
・引抜き具 ▪	1個
打ち込み引き抜き用備品	
・ショックレスハンマ、ウレタンカケヤ ▪	各1本



### ポータブルタイプ

0.5m程度の表層土壌の試料採取を目的としたポータブルジオスライサー

ハンディジオスライサー本体	
・ハンディジオスライサー(0.6m) ▪	3台
引き抜き機	
・引き抜きテコセット ▪	1台 ▪
打ち込み引き抜き用備品	
・ショックレスハンマ ▪	1本
・収納ボックス ▪	1個

